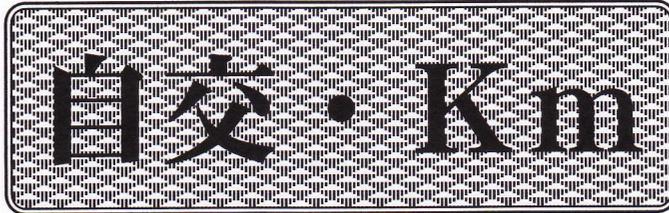


『お知らせ』

組合の様々な連絡、要望は本部事務局で承ります。受付電話番号 (FAX兼用) 03-5808-9951 (台東支部) (担当:岩崎・片岡)



第11号

2012年5月25日

本部所在地:東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田702 電話・FAX03-5297-3555

Km労働組合 教宣部

●ホームページhttp://atukmunion.sa-suke.com/ ブログ:http://atukm.tou3.com/

# 団体交渉の日程決まる!

(5月29日/新橋. 航空会館)

団体交渉の日程がのびのびになっていましたが、5月29日に開催が決定しました。春闘の要求書も受取を拒否していた会社もようやく交渉のテーブルに着くことになりました。組合員の皆様にはご心配をお掛けしましたがスッキリした形で交渉に臨むことが出来ます。情勢の変化に伴う要求の再構築と日常的な要求を積み重ね実現に向かって団結していきましょう。

## 帰路の高速道路料金は現金払いの日払い?

最近話題になっているのが帰路の高速道路料金です。会社は大口割引で月末一括払い。乗務員は納金時に現金払いです。しかも割引無しです。ETC利用の大口利用メリットは会社だけです。お客様と乗務員へ還元する方策は考えられないのでしょうか?

## スピード規制は「角を矯めて牛を殺す」では?

(指導内容の記載もない「安全運転指導書」を集めて乗務員に何を指導するの?)

形式的なスピード規制でなく乗務員も納得できる方法はないのでしょうか? 交通状況は生きています。瞬間瞬間で状況は変化します。一般道路で時速60kmで走行しながら乗客の指示を受けながら瞬時の判断が求められます。約20時間の乗務中、一時のスピードオーバーは交通事情からすれば不可避とも言えます。流れに乗っての走行こそ安全運転の基本ではないでしょうか? 例えば連続して5秒間のオーバーをチェックするとか、空車時のオーバーをチェックするとか、実情にあった管理は出来ないのでしょうか? 机上の管理を現場に押しつける事で何が解決するのでしょうか?



歓談する自交の仲間達とデモの参加者

## ●5月1日 第83回メーデー Km労働組合から7名参加!

5月1日、全国で第83回メーデーが開催されました。雇用確保や東日本大震災からの復興、脱原発などのスローガンを掲げた、代々木公園の中央メーデーには、組合員ら約2万人(主催者発表)が参加し、共産党の志位和夫委員長も出席しました。冒頭、大黒作治全労連議長が「安定した雇用と社

## 賃上げと雇用確保で 内需拡大・震災復興を

会保障の拡充を図るための運動を強めよう」と呼び掛けました。震災の被災地代表として、東京電力福島第1原発事故の警戒区域内にある双葉厚生病院(福島県双葉町)の看護師だった松崎純子さんが壇上に立ち「震災でなくしたものは大きすぎる。政府や東電には不信感、怒りしかない」と訴えました。小雨の中Km労働組合は自交の仲間と恵比寿までデモ行進をして解散しました。

## 食らざる所に住む所

親分と子分、上司と部下、組合の委員長と執行委員。又三題断の様な感じになります。親分と子分は絶対的な関係で絶対服従です。上司と部下はどうでしょうか? 会社組織をパツクに権力的な上下関係があります。パワハラと言われる様な関係です。最近では批判的になってきます。権力関係も労働基準法等で一定の規制があります。ですから絶対的な関係ではありません。組合で委員長と書記長や執行委員の関係ではどうなるのでしょうか?

ここで組合民主主義が働かないと「親分と子分」や「上司と部下」同様の関係になります。この違いこそが労働組合たる所以です。委員長や執行委員は選ばれてその任に就いているのです。そのポストは地位ではありません。任務なので、勘違いした人物が現れてしまいました。彼は「組合民主主義」を理解していません。組合活動を妨害することが目的となつてしまった人物は、除籍の処分になりました。自称親分は、その世界でしか生きられません。

素不徒

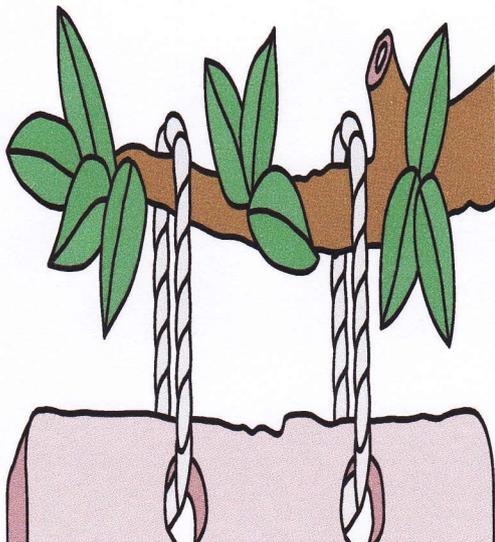
### ★村上裁判支援の礼状★

★村上裁判に対する自交総連東京地連をはじめとする、各単組に支援に対して礼状を発送しました。

判決内容は承伏しがたい内容も含んでいます。

裁判は村上さんの意向で控訴することになりました。執行委員会は今後の対応を協議し、組織として支援しないことに決定しました。今後は個人的支援という形で進めます。

(執行委員会)



### ●主な活動予定●

- 5月31日  
地連第3回中央委員会
- 6月2日  
大手4労連絡会
- 6月12日  
団結ボウリング大会  
(田町ハイレーン)
- 6月17～18日  
南部ハイタク総括会議
- 6月27日  
28日  
地連ATUカレッジ
- 7月26日  
地曳網大会(網上げ11時)  
鵜沼海岸

### 規制緩和が命を奪った

自交労働者800号は関越道バス事故を痛烈に批判しています。規制緩和がもたらした貸切バス事業は、当事者である「陸援隊」なる問題を体現している会社を生み出しています。運転手は違法な日雇い、まともな運行管理も点呼もない、およそ安全運行とは無縁な企業です。

一見タクシー業界とは無関係のようですが、問題点は規制緩和による過当競争を背景にするもので、空車があふれかえるタクシー業界もまさに規制緩和の産物です。

**減車せよ、賃金増やせ、法律を守れ**

減車・休車に非協力的な事業者を許さない運動が必要です。

### 安全自動車買収のその後??

kmホールディングスが安全自動車を買収しましたが当初の予測と大きく違っているようです。

安全自動車の営業所がそのまま営業を続けているところは、kmマークの行灯で営業をしているようです。

問題は既存の営業所を閉鎖して国際自動車の営業所へ合流させたところですが。安全品川から国際自動車の羽田(城南)へは数名の移動だったようです。最近閉鎖が決まった江東営業所も国際自動車台東(城東)への移動も数名程度ではないかと言われています。kmホールディングスは資産(土地)を買っただけで乗務員まで丸ごと買ったのではないようです。去る者は追わず。残りたければどうぞ程度に対応なのか安全自動車の乗務員の不人気になります。

## 7月26日 地曳き網大会 (鵜沼海岸)

詳細は後日発表

### 参加者募集

### 参加費:組合員1,000円

### 家族(配偶者、親、子、孫)は無料

当日はマイクロバスの運用を考えています。



出番の調整をしてみんなで参加しましょう。  
第一次アンケートで参加人員を確認しましたが、近日詳細を決定してお知らせ致します。

## 参加は まだまだ募集中です!

### ●5月6日統制委員会開催●

#### 議題

①中島氏を統制委員会へ「除籍」を付託する件  
決定は書面にて組合員の皆様へ郵送しました。  
台東支部は配布  
詳細な議事録があります。閲覧できますので申し出下さい。

### ●定例執行委員会の予定●

- 5月28日 主な議題
- ①団体交渉の確認
- ②前回からの経過
- ③春闘の経過
- ④選挙管理規定等

### ●実践南部道対学習会●

5月12日高砂自動車労働組合会議室で開催されました。Km労働組合は佐々執行委員が出席

本部からお知らせ